

## 令和7年度裾野市地域公共交通活性化協議会(第2回)議事録

日時:令和7年10月28日(火)10:00~11:45

場所:裾野市民文化センター 34, 35, 36会議室

- ・出席者 別添資料No.1のとおり

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 委員及び出席者紹介 【資料No.1、2】
- ・名簿に代えて割愛
4. 議事

### 報告事項

- (1) 高齢者バス・タクシー利用助成券について(報告事項1) 【資料No.3】

資料3に沿って説明。

現在、市が実施しているタクシー関連事業について説明。

「くらし安心 すそのん燃料タクシー券」1世帯あたり3,000円分の券を交付。

「タクシー事業者運行対策支援事業」タクシー事業者に対する輸送力確保のための補助。

### 主な意見

- ・予算の制約と助成額の拡充のバランスについて質問。

→事務局:予算内で対象者を絞ることで、1人あたりの助成額増加を検討する。

- (2) 裾野市内循環線バスの利用状況について(報告事項2) 【資料No.4】

資料4に沿って、事務局説明。

その後、モビリティ勉強会から報告。

ルート再編前後の利用者数を比較すると、1.4倍に増加している。

自動調査(カメラ+GPS)により乗降地点の把握が可能になる。

自動調査で約7割の乗降データを取得できた。バス利用者の動きの可視化につながる。

### 主な意見

- ・目的や年代別利用状況の把握について質問

→事務局:年代別データは未収集、次回公共交通計画改定時に検討

- ・カメラ映像を活用した年代推定の可能性を提案

- ・裾野市の取り組みは他自治体に比べて先進的であり、今後も継続を希望

- (3) 交通空白解消のための調査事業について(報告事項3) 【資料No.5】

資料5に沿って事務局説明。

主な意見：

- ・ビッグデータの限界(高齢者のデータ不足など)への懸念。
- ・ワークショップの意見とデータ分析の整合性の重要性。

#### 協議事項

(4) 交通空白解消のための実証運行について(協議事項1) 【資料No.6】

資料6に沿って事務局説明。

モビリティ勉強会から追加説明。

対象地区：須山地区

期間：令和8年1月～2月(約1ヶ月)

内容：

自家用有償運送(レンタカー1台使用)

朝夕の通学・通勤時間帯に運行

運転者は一般ドライバーを募集・講習実施

運賃：一般500円、中高生は0～500円(寄付的な設定)

主な意見

教育委員会との連携や政策的な位置づけの必要性

実証運行後の継続性やロードマップの提示を求める声

#### 6 その他

次回開催は、令和8年1月頃を予定。詳細は後日通知

#### 7 閉会